

- 交通アクセス ●JR博多駅より、JR水巻駅まで 電車で約50分
 ●JR小倉駅より、JR水巻駅まで 電車で約30分
 ●JR水巻駅より、徒歩約8分
 ●北九州市営バス 福岡新水巻病院前下車、徒歩約0分



社会医療法人財団 池友会
福岡新水巻病院

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2-1

TEL 093-203-2220(代)

<https://www.f-shinmizumaki.jp/>
 e-mail : soumu@shinmizumaki-hp.jp

作成日 2012年 4月 12日
 改訂日 2013年 6月 1日
 2014年 8月 1日
 2015年 7月 1日
 2016年 9月 1日
 2017年 8月 1日
 2018年11月 1日
 2019年 8月 1日
 2020年 6月 1日
 2021年 6月 1日
 2022年 8月 1日

FUKUOKA SHIN MIZUMAKI HOSPITAL INFORMATION

FUKUOKA SHIN MIZUMAKI HOSPITAL INFORMATION

病院のご案内



福岡新水巻病院

社会医療法人財団 池友会

福岡新水巻病院

地域に密着した“身近な 医療機関”を目指します。



社会医療法人財団 池友会
理事長
富永隆治



社会医療法人財団 池友会
福岡新水巻病院 院長
藤井 茂

ごあいさつ

福岡新水巻病院は、遠賀・中間地区の急性期疾患に対応できる病院として平成15年6月1日に開設いたしました。高度医療機器を備え、二次・三次の救急や重症患者に対応すべく、救命救急体制を整えております。

また、地域の医療機関や福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる地域密着型の中核病院を目指しています。

病院理念

『手には技術、頭には知識、患者様には愛を』

基本方針

高度医療

学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備整備の拡充に努めます。

チーム医療

患者様と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、退院支援まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

診療科目

■診療科目 内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・小児科・新生児内科・児童精神科・外科・消化器外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心血管外科・皮膚科・泌尿器科(人工透析)・産婦人科・リハビリテーション科・放射線科・救急科・精神科・歯科口腔外科・麻酔科・病理診断科・臨床検査科

■診療案内 透析センター・人間ドック・治験管理

病院概要

■敷地面積 / 13,453.38㎡
(内別館 / 2,028.80㎡)

■建築面積 / 6,110.14㎡
(内別館 / 1,393.26㎡)

■建築延床面積 / 19,519.36㎡
(内別館 / 2,840.18㎡)

■病院建物 / 本館地上9階、別館地上2階

■許可病床 / 227床

Floor Information 福岡新水巻病院・フロア案内

| | | | | |
|----|---|--|--|--|
| 9F | 展望風呂 特殊浴室 | コインランドリー | | |
| 8F | 大会議室 | 多目的室 | 医療連携室 | |
| | 診療情報管理室 | 図書室 | 医療秘書室 | |
| 7F | 病室 / 701~726号室 | 談話室・食堂 | | |
| | ナースステーション | | | |
| 6F | 病室 / 601~626号室 | 談話室・食堂 | | |
| | ナースステーション | ハイケアユニット病室 | | |
| 5F | 病室 / 501~526号室 | 談話室・食堂 | | |
| | ナースステーション | ハイケアユニット病室 | | |
| 4F | 病室 / 401~425号室 | 談話室・食堂 | | |
| | ナースステーション | ハイケアユニット病室 | | |
| 3F | 管理部門 厨房 | 健診室(人間ドック) 職員食堂 | 会議室 | 医療安全管理室 |
| 2F | 外来診察室 治験管理室 栄養相談室 | ICU 中央処置室 外来化学療法室 | 小手術室(1室) 手術室(4室) | 中央材料室 透析センター |
| | 総合案内 総合受付 医療相談室 医事課 入退院支援センター | 救急外来 救急外来処置室 救命救急室 一般撮影室 MRI室1-2 | 透視室 特殊撮影室 RI室 CT室1-2 MRI室1-2 | 一般検査室 生理検査室 内視鏡室 薬局 総合リハビリテーションセンター(PT室・OT室・ST室) |

別館・フロア案内

| | | | | |
|----|----------------|---------------|------------------|-------------------|
| 2F | 病室 / 201~207号室 | 手術室 | 分娩室 | 配膳室 |
| | ナースステーション | 説明室 | 談話室 | |
| 1F | 受付 内診室 | 小児科診察室 授乳室 | 産婦人科診察室 救命救急室 | 検査室 カンファレンスルーム |

診療内容

CONTENT OF MEDICAL EXAMINATION

内科・循環器内科

高齢化社会の中で365日、24時間対応の高い医療レベルの内科救急を中心に、地域の皆様が安心できるプライマリーケア、内科全般を病診連携をとりながら担当させて頂きます。

虚血性心臓病(狭心症や心筋梗塞)、不整脈、心筋症、心不全等に対応します。近年増加中の虚血性心臓病は早期治療が大切なため24時間体制で診療します。



●院長
藤井 茂
聖マリアンナ医科大学(昭和59年卒)
・日本心血管インターベンション治療学会
名誉専門医
・日本人間ドック学会認定医

バイタリティ溢れる医局スタッフ、医療技術部スタッフと共に高度医療機器を使用し、患者様に優しく、分かりやすい、医療を提供致します。虚血性心臓病の原因となる生活習慣病(高血圧、糖尿病、高コレステロール血症)の予防、管理にも力を入れています。何でもお気軽にご相談ください。



●内科・循環器内科部長
吉田 敏弥
宮崎大学(平成17年卒)
・日本内科学会総合内科専門医
・日本循環器学会専門医
・日本人間ドック学会認定医
・日本内科学会指導医

●血液・腫瘍内科部長
熊野 孝
九州大学(平成14年卒)
・日本内科学会総合内科専門医

●内科医長
野田 泰正
長崎大学(平成14年卒)
・日本内科学会認定医

●地域医療連携センター長・内科医師
八代 晃
産業医科大学(昭和59年卒)
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・医学博士

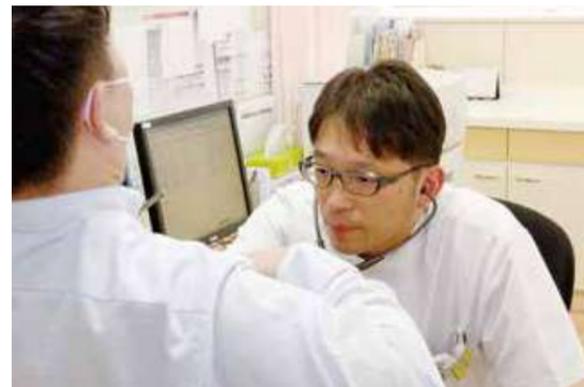
●内科医師
山賀 博彦
九州大学(昭和60年卒)

●内科医師
林 晴男
佐賀医科大学(昭和63年卒)
・日本内科学会指導医
・日本消化器病学会専門医
・日本心身医学会専門医
・医学博士

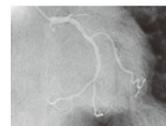
●内科医師
田中 志朗
鹿児島大学(平成27年卒)



●内科回診



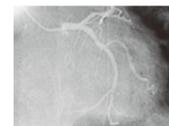
【心臓カテーテル治療例】



●術前/PCI前



●術中/バルーンで拡張中



●術後/PCI後

消化器内科

早期胃癌の内視鏡治療など、最新の医療機器を用いて正確に診断し、安全に苦痛なく治療しています。



●消化器内科部長
藤丸 竜哉
宮崎医科大学(平成2年卒)
・日本消化器内視鏡学会専門医

消化管を担当しています。外科と一体となり診療していますので、手術を含めた最も良い治療を提供致します。

●消化器内科医長
伊東 陽一郎
佐賀大学(平成22年卒)
・日本内科学会総合内科専門医
・日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
・日本消化器病学会消化器専門医
・日本消化管学会胃腸科専門医
・医学博士



●電子内視鏡システム



●内視鏡による止血術



外科

当科では、各種外科的救急疾患(虫垂炎、胆石症、腹膜炎)及び、良性疾患(ヘルニア、肛門疾患)の診断と治療を中心に、悪性疾患(消化管、乳腺、肝胆膵)については、手術のみならず、化学療法、緩和ケアまで患者様の社会的背景を考慮し対応しております。



●副院長・外科主任部長
矢野 公一
産業医科大学(昭和61年卒)
・日本外科学会指導医・専門医
・日本消化器外科学会認定医
・消化器がん外科治療認定医
・日本乳癌学会認定医
・日本臨床外科学会評議員
・医学博士
・インフュージョンコントロールドクター
・日本病院総合診療特任指導医



●外科部長
多賀 聡
産業医科大学(平成2年卒)
・日本外科学会専門医
・医学博士



●消化器外科部長
上野 陽介
佐賀大学(平成15年卒)
・日本外科学会専門医
・日本消化器外科学会指導医専門医
・日本消化器病学会専門医
・日本肝臓学会専門医
・日本循環器学会専門医
・日本肝胆膵外科学会評議員
・日本がん治療認定医機構
がん治療認定医
・日本消化器がん外科治療認定医



●腹腔鏡下手術

●外科医長
野村 亮介
福岡大学(平成23年卒)
・日本外科学会外科専門医
・日本消化器外科学会専門医
・日本消化器がん外科治療認定医
・日本腹部救急医学会腹部救急認定医

●外科医師
三毛門 佳彦
和歌山県立医科大学(平成24年卒)

●外科医師
山高 泰毅
聖マリアンナ医科大学(平成31年卒)

また当科では、次世代を担う外科医の育成にも力を入れています。外科専門研修プログラムでは、さいたま市立病院、済生会横浜市東部病院と連携し、修練医の派遣や受け入れを行っております。

整形外科

当科では手術を要する四肢外傷(骨折、靭帯損傷、腱損傷など)に迅速に対応しています。特に高齢化社会を迎え、高齢者の大腿骨近位部骨折、上腕骨骨折、手関節の骨折は全国でも有数の症例数を誇ります。また、肩関節の鏡視下手術、膝の人工関節置換術などの慢性疾患の関節外科手術も多く行っておりますのでお気軽にご相談ください。



●整形外科部長
畠山 英嗣
宮崎医科大学(平成7年卒)
・日本整形外科学会専門医



●関節外科部長
大隈 暁
産業医科大学(平成16年卒)
・日本整形外科学会専門医
・日本整形外科学会認定スポート医
・日本整形外科学会認定リウマチ医

●整形外科医師
杉木 暖
山梨大学(平成28年卒)
・日本整形外科学会専門医

●整形外科医師
花田 修平
愛知医科大学(平成30年卒)



●人工膝関節手術

診療内容

CONTENT OF MEDICAL EXAMINATION

脳神経外科

脳卒中を始め、頭部外傷、脳腫瘍、機能的脳外科まで広く対応します。生活習慣病の合併や高齢化に伴い、増加する脳卒中は早期治療が重要なため、24時間体制で診療します。脳梗塞に対する、t-PAによる血栓溶解療法だけではなく血栓回収術(カテーテル治療)にも取り組んでいます。難治性疼痛に対する脊髄刺激療法も開始しました。



●副院長・脳神経外科部長
金 茂成

山口大学(平成3年卒)
・日本脳神経外科学会専門医
・日本脳神経外科学会指導医
・日本病院総合診療特任指導医



分かりやすく、納得いただける説明と合併症の少ない丁寧な手術を心がけています。血管内治療にも積極的に取り組んでおり、脳梗塞の予後改善に努めています。



●脳血管内治療科部長
角本 孝介

広島大学(平成18年卒)
・日本脳神経外科学会専門医
・日本脳神経外科学会指導医
・日本脳神経血管内治療学会専門医
・日本脳神経血管内治療学会指導医
・日本脳卒中学会専門医
・日本脳卒中学会指導医

●脳神経外科医長

三小田 享弘

山口大学(平成25年卒)
・日本脳神経外科学会専門医
・日本脳神経血管内治療学会専門医

●脳神経外科医師

齋藤 亮也

産業医科大学(平成31年卒)

●脳神経外科医師

田中 恒輝

佐賀大学(令和2年卒)

形成外科

身体外表の形態は、それ自体が一つの重要な機能です。当科では先天異常(口唇口蓋裂など)、外傷(顔面骨骨折、手の外傷など)、腫瘍(耳下腺腫瘍など)、その他(眼瞼下垂症、顔面神経麻痺など)に対し、形態を含め全ての機能を正常な状態に戻すことで、Quality of Lifeの向上に貢献することを目的に治療をしています。



●形成外科部長
戸島 康晴

佐賀医科大学[現 佐賀大学医学部](昭和60年卒)
・日本形成外科学会領域指導医
・日本専門医機構形成外科専門医
・日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医
・日本形成外科学会小児形成外科分野指導医



近年は、顔面神経麻痺に対する舌下神経を用いたクロスリンク型神経移植術等、最新の手術も施行しています。小児形成外科・頭蓋顔面外科を主に活動してきました。専門的かつ高度な知識と技術を提供し、地域の形成外科的治療を担っていきたく考えています。

救急科

一次救急(入院を必要としない)から三次救急(高度医療を必要とする)まで、どのような状況でも、最も適切な治療を確実に実行できることが救命救急・集中治療に最も大切なことです。24時間いつでも受け入れ、診察はもちろん、CT、MRI、血管造影を含む検査、手術、集中治療体制を整え、救命治療に備えています。



●救急科部長
宮園 博貴

川崎医科大学(平成9年卒)
・日本救急医学会救急科専門医
・日本人間ドック学会認定医



年間受け入れデータ

救命救急部データ(2021年度)

- ・救急搬入件数 6,403件(1日平均 17.5件)
- ・救急搬入人数 6,425人(1日平均 17.6人)
- ・救急入院人数 3,218人(入院率 50.1%・1日平均 8.8人)



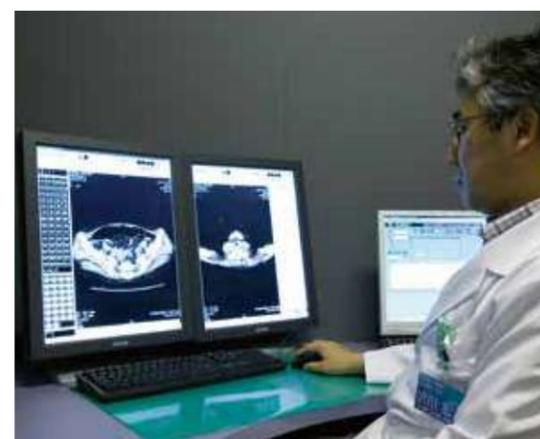
放射線科

最新の放射線機器を駆使した画像診断を行い、患者様一人一人の証拠に基づいた確かな医療を提供出来るよう裏方として日々頑張っています。また、あらゆるIVR(画像診断装置を利用した治療)にも対応致します。



●放射線科部長
武田 宏之

長崎大学(昭和57年卒)
・日本医学放射線科学会専門医
・日本IVR学会指導医・専門医
・検診マンモグラフィ読影認定医



全領域における画像診断及びIVRを専門としています。画像に関する疑問やIVRについてのご相談は気軽にお問い合わせください。

診療内容

CONTENT OF MEDICAL EXAMINATION

麻酔科

手術は、麻酔なしでは激しい痛みとストレスのために手術を行うことは困難です。それぞれの手術、幅広い年齢の患者さんに対し、麻酔科医は適切な麻酔法・最適な麻酔薬を投与し全身管理をしています。手術中は患者さんのすぐそばで、手術中に起こりうる様々な有害事象(血圧の低下・上昇、不整脈、呼吸の異常、出血、体温、血液検査値の悪化など)から患者さんの生命を守っています。



●麻酔科部長

小川 圭

香川大学(平成16年卒)
・日本麻酔科学会麻酔科専門医
・日本麻酔科学会麻酔科標榜医



安全性の高い麻酔薬・麻酔装置やモニター機器の進歩に加えて、麻酔科医が細心の注意をもって麻酔管理を行うことにより麻酔の安全性は高まりました。一般に麻酔自体による危険性は0.01%程度といわれています。手術中の急変にも迅速かつ適切な処置が行えるよう体制を整えていきたいと考えています。

●麻酔科医師

藤原 ゆかり

東海大学(平成24年卒)
・日本麻酔科学会麻酔科専門医
・日本麻酔科学会麻酔科標榜医
・日本麻酔科学会麻酔科認定医

病理診断科

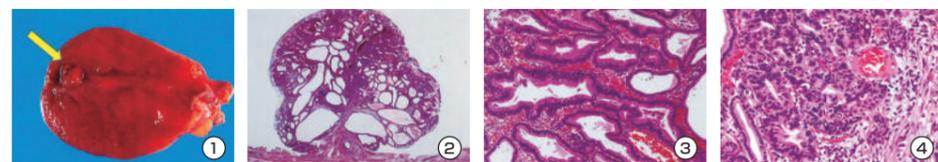
人体は様々な内部外部からの病因により障害を受け、炎症や循環障害(心筋梗塞、脳梗塞など)、腫瘍形成など多種多様な病態を引き起こします。それらの病態を最終的に細胞レベルで探求するのが病理学であり、病理医はその病理診断を担当しています。私達の仕事は、顕微鏡などを用いて全身諸臓器の腫瘍(癌など)や、炎症(腎炎、肝炎、肺炎など)等々広い範囲の病気の最終診断を担当することです。



●病理診断科部長

原武 譲二

金沢大学(昭和52年卒)
・屍体解剖資格認定
・日本病理学会病理専門医
・日本病理学会病理専門医研修指導医
・日本臨床検査医学会臨床検査管理医
・インフェクションコントロールドクター



胆嚢ポリープ(①→の部分)のため手術された症例。②がポリープ全体の顕微鏡像で、多くは③の様な腺腫(良性の領域)であるが、一部に④のような腺癌(消化器などにできる癌の一種)が含まれている。



泌尿器科(人工透析)

腎臓や膀胱、前立腺の良性・悪性腫瘍や排尿困難、頻尿、尿失禁、さらに重症の尿路感染症などの排尿に関する様々な病気の治療を行っています。また、透析など腎不全の管理も行っています。



●泌尿器科部長

飯原 清隆

産業医科大学(平成9年卒)
・日本泌尿器科学会認定専門医
・日本泌尿器科学会認定指導医

透析センター

最新透析機器を完備し、熟練したスタッフが対応致します。透析センターは、監視装置を最大20台まで設置できる広さで、休憩用ラウンジも備えています。又、ICUにおける緊急血液浄化も24時間体制で対応致します。



小児科

次世代のわが国を担う子どもとその家族の健康を守る医療をすべての医療従事者と協力して行います。ほとんどの子どもが生き延びる時代を迎え、生きることの質が問われます。そのためには、体の健康だけでなく、心の健康も要求されます。私たちは、心と体の健康を守る医療を展開します。



●小児科部長

福田 美和子

産業医科大学(平成6年卒)
・日本小児科学会専門医

●小児科医長

秋原 美華

産業医科大学(平成10年卒)
・日本小児科学会専門医
・新生児蘇生法(NCPR)
インストラクター

医療技術部

MEDICAL TECHNOLOGY PART



放射線科

最新の各種診断装置を設置し、24時間365日、常時稼働させることにより、救命救急や一般診療から人間ドックまで、あらゆる医療活動において「地域医療への貢献」に努めています。



●放射線科係長
大月 啓睦

MRIやCTなどの近隣開業医の先生方との共同利用をすすめています。日・祝日を問わず先生方、患者様のご都合に合わせて快くご利用頂ける体制を整えています。



薬局

薬物療法を受けられる患者様の安全を第一に考え、医薬品の適正使用に日々努めています。入院中の患者様には薬剤師が病棟に出向き、お薬を正しく服用して頂くため、重篤な副作用を回避するために服薬指導と情報提供を行っています。また、チーム医療の一員として薬物療法を支援し患者様のQOLの向上に取り組んでいます。



●薬局長代行
末永 拓也

薬局内の仕事にとどまらず、「患者様に身近な薬剤師」を目指しております。薬に関するご質問・ご相談などがございましたらお気軽に声をかけください。



リハビリテーション科

入院初期や手術直後より、徹底したリスク管理を行い、患者様が安心できる個別の関わりをモットーにリハビリテーションを実施します。

入院においては、「365日リハビリ」を実施しており、早期からの積極的な回復、維持・改善を目指し、ADLの回復、全身状態の安定、廃用予防に努めています。

また、外来リハビリテーションや訪問リハビリテーション、小児リハビリテーションもニーズに合わせ、実施しております。



●リハビリテーション科 課長
末永 健一

リハビリは「副作用の少ない薬」のようなモノと云うことがあります。元気で明るいリハビリスタッフが、親身になって関わり、心身機能の維持・向上を図ります。



検査科

検査科では患者様の苦痛を取り除くために医師の指示の下、血液や尿などの検体検査や、超音波や心電図・脳波など直接患者様の状態を調べる検査を行っています。

また、健康維持や疾患予防・早期発見を目的とした人間ドックの検査も行っています。患者様が少しでも早く回復できるお手伝いができるように、また安心して検査を受けていただけるように、最新の検査機器を用いて24時間・365日適切な臨床検査情報の提供を理念に検査を行っています。



●カマテグループ臨床検査科副総技師長 兼 医療技術部長 兼 検査科技師長
安永 綾子

「正確で質の高い検査結果を迅速に提供できるように」を常に心がけて検査を行っています。専門資格を有するスタッフも多いため、検査のことは安心して我々「臨床検査技師」にお任せください。



臨床工学科

近年、医用工学の発展により、様々な医療機器が使用されるようになり、1987年に臨床工学技士が誕生しました。臨床工学技士は医師の指示のもと、血液浄化療法、高気圧酸素療法、補助循環、人工呼吸器などの操作や管理と、カテーテル検査・治療・内視鏡検査など生命に直接関わる機器を通じて治療・検査に携わっています。また医療機器を安全確実に使用できるようメンテナンスも行っています。



●臨床工学科 係長代行
橋本 直幸

様々な医療機器を使いこなす、より高度な治療・検査を目指すことで、私たちMEは生命に関わっています。また、24時間365日対応できる体制をとっております。

看護部

NURSING DEPARTMENT



栄養管理室

栄養管理室では、医師の指示のもと患者様の病態に応じた安全でおいしい食事の提供を心がけています。また、多職種と共同でNST（栄養サポートチーム）による定期的な回診を行い、栄養面の改善に努めています。

その他、食事が食べにくい方、アレルギー、離乳食などの個別対応も行っております。入院・外来患者様どちらの方にも糖尿病、脂質異常症、心疾患など様々な疾患に応じて、栄養・食事指導を実施しています。



●管理栄養士
香月 千佳

栄養・食事指導を通じて患者様の治療のお手伝いができればと考えております。食事に関するご質問などございましたら、主治医または看護師にお声かけください。管理栄養士が対応します。

人間ドック

HUMAN DRY DOCK

現代のように、忙しくストレスの多い毎日を送っていると、大切な健康が蝕まれていることに気づかないことがあります。それは生活習慣病のはじまりではないでしょうか。

生活習慣病は、主に働き盛りにかかる病気で、これといった自覚症状はありません。定期的な健康診断こそ生活習慣病予防の最善策です。生命予後の延長だけでなく、生活の質の向上(QOL)を保ちながら健康で明るい生活を送るために、健診『人間ドック』で年に一度は健康状態をチェックしましょう。

人間ドック(脳ドック・PETドック)はもとより、特定健診をはじめ、定期健康診断、生活習慣病予防健診、乳がん健診の実施により、がんの早期発見や生活習慣病の予防に対する特定保健指導(動機づけ、積極的支援)を実施します。

福岡新水巻病院 人間ドックの特長

1. 救急医療現場で使用する医療機器を駆使した検査を実施します。
2. 検査結果に基づいた結果説明及び生活指導を当日に実施します。
3. 画像診断のダブルチェックを基本とし、診断の質の向上を図ります。
4. 日帰り、宿泊とも多彩なメニューの中より選ぶことができます。

教育体制

EDUCATIONAL SYSTEM

臨床研修指定病院(専攻医・初期臨床研修医)

当院では厚生労働省より基幹型臨床研修病院の指定を受け、「明るく・楽しく・激しく」をモットーに、これからの医療を担う若い医師の教育指導に力を注いでいます。現在、専攻医として6年目3名、5年目1名、4年目1名、3年目1名、研修医9名が勤務しております。『院長のひとりごと』(ホームページにあります。)



ICU回診



救急カンファレンス



CPA症例検討会



挿管実習



福利厚生施設での宿泊研修(湯布院)



カンボジア研修



医療機器

MEDICAL EQUIPMENT

最新の高度医療機器で的確な診断と効果的な治療を実現

64列MDCT (64スライス)

救急医療には不可欠です。

救急医療において今やなくてはならないMDCTです。最大の特長としては一呼吸で全身撮影が可能であり、患者様の負担を軽減します。また撮影時間が短く、どの検査も短時間で終了し外来においても簡単にかつ安心して検査を受けていただけます。救急医療にはもちろん、人間ドックへの活用など幅広く医療現場をサポートしています。

特徴

- 全身のあらゆる部位の検査に対応できます。
- 検査時間が短いので、救急医療に効果的です。



BMD (X線骨密度測定装置)

近年、高齢者人口の増加により頻りに耳にするようになった「骨粗鬆症」は、食生活の変化により若年化してきていると言われております。これによる深刻な病態進行を避けるためには、早期発見・治療が必要です。今日の臨床現場では、栄養症・ホルモン値の異常、骨密度(塩量)の変化を把握することが不可欠で、そのニーズに伴う測定装置も、より高性能のものが必要とされています。当院では最新鋭装置を導入し、地域の皆様の「骨の健康管理」に貢献しています。



MRI (磁気共鳴画像)

国内で最高レベルのコンピュータシステム。

MRIとはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)の略で、体内の原子核(水素原子核=プロトン)が発生する信号をとらえて画像化するものです。現在、3テスラと1.5テスラMRIとの2台体制で検査を行っております。頭部・脊髄・胸部・腹部・四肢関節など全身のあらゆる部位において、精密な画像を得ることが可能です。また、MRA(非侵襲的な血管造影法)、高速撮影による短時間検査、3D表示など、高い技術を要するものも可能としています。

特徴

- X線を使用しないため、安心して検査を受けられます。



DSA (デジタル・サブトラクション・アンギオグラフィー)

救急疾患、特に心臓・脳疾患には不可欠。

DSAとは、あらゆる部位の血管のみを造影剤を用いることにより撮影することができる装置です。例えば、脳血管では「脳内出血」「脳梗塞」などの原因となる細かい血管の異常を発見することができます。胸部血管においては、腫瘍血管の抽出や大動脈疾患の発見に有効です。心臓血管(冠動脈)においては、Cアーム装置を付添することにより、心筋梗塞などの血管閉塞部抽出に効力を発揮します。また、当院でもざんに行われ、今日最先端の技術とされている冠動脈疾患(心筋梗塞)の治療、PTCA、PTCR、ステント留置術を行う上で欠かせない装置です。2020年8月よりSIEMENS社製の最新型血管造影装置が稼働致しました。従来の機種よりも4倍の描出能を備えており、低線量でも優れた画質を実現し、さらに、最新のイメージガイダンスアプリケーションを搭載し、最適なインターベンション治療環境を提供できるようになっております。



マンモグラフィー (乳房撮影装置)

当院では、乳腺超音波検査の件数が年々増加しており、これに伴って診断技術向上のためマンモグラフィーを導入しました。乳癌は年々増加傾向にあります。定期的な検査で、早期発見、早期治療をおすすめします。



RI (ガンマカメラ・システム)

臓器の機能診断を行います。

当院では、2019年2月にGE社製の最新型ガンマカメラを新規導入いたしました。この最新型ガンマカメラにより画像の画質の向上、全身骨のSPECT(回転撮影)が可能となっております。RI検査とは、放射線を出す製剤(放射性医薬品)をごく微量体内に投与し、その製剤が検査の対象となる臓器に集まり、これを専用のカメラ(ガンマカメラ)で撮影します。他の検査と違い臓器の動きも見ることができます。頭部や心臓、腎臓などの各臓器及び骨などの疾患の検出に役立ちます。当院の主な検査は、骨シンチグラフィと脳血流シンチグラフィの検査になります。骨シンチグラフィは悪性腫瘍の骨転移の診断に有効です。脳血流シンチグラフィは脳血流のわずかな変化を見つけるための検査です。脳梗塞、認知症などの病気の診断に有効です。薬の発する放射線の量は時間とともに減少し、速やかに体内から排泄されます。



救急医療

EMERGENCY MEDICAL CARE

最新の医療設備と専門スタッフがあらゆる緊急疾患に対応。

緊急病院でもある当院には、1ヵ月550件を超える救急搬入があります。24時間、いつでもすべての検査・手術・治療ができる体制を整え、各科ドクターが一丸となり、あらゆる疾患に対処しています。

救急医療体制

救急隊からの連絡

医師へのダイレクトコール

救急患者搬入

救命処置

手術

ICU(集中治療室)



救急患者搬入

救急隊から医師へダイレクトに連絡が入り、救急隊と連携し、救急患者をスムーズに搬送します。



救命処置

医師・看護師・医療技術スタッフが一丸となり、迅速に救命措置を行います。



手術室

(手術室5室+小手術室1室)

24時間体制ですべての緊急手術を開始することができます。



ICU

(集中治療室・12床)

大きな手術を終えられた患者様や心不全・呼吸不全・脳血管障害などの重い疾患のある患者様や、一般病棟では全身管理が困難な患者様の集中治療を行います。経皮的心肺補助装置[PCPS]など、最新の技術を駆使して、循環・呼吸といった身体機能の維持・回復に努めています。

ヘリコプター事業

HELICOPTER EMERGENCY TRANSPORTATION SYSTEM

救急医療の未来へ向けて。

社会医療法人財団池友会が行う、医療搬送用ヘリコプター事業「ホワイトバード」は、民間医療施設が行うものとしては沖縄県の浦添総合病院に次ぐ、ヘリコプターの医療用活用事業です。この医療搬送用ヘリコプター「ホワイトバード」は、厚生労働省認可の「ドクターヘリ」だけではカバーできない、離島や遠隔地・僻地からの患者様の搬送、医師や医療物資の搬送など、あらゆる救命救急搬送に柔軟に対応、威力を発揮します。「ホワイトバード」の導入により、離島や僻地の患者様の救命救急活動や、救急医療のさらなる拡充が可能となります。



「ホワイトバード」運用のメリット。

遠隔地からの安全且つスピーディーな患者搬送が可能に。

九州各地はもちろん、本州や四国の一部、福岡から遠く離れた地域や、交通手段が限られた僻地の患者様の搬送を安全且つスピーディーに行うことが可能になります。

事故や災害発生時の患者様・医師搬送や物資搬送が可能に。

事故や災害時、緊急の移送手段が限られた状態でも、速やかに患者様や医師を搬送する事が可能になります。また、災害時の物資の搬送にも威力を発揮します。

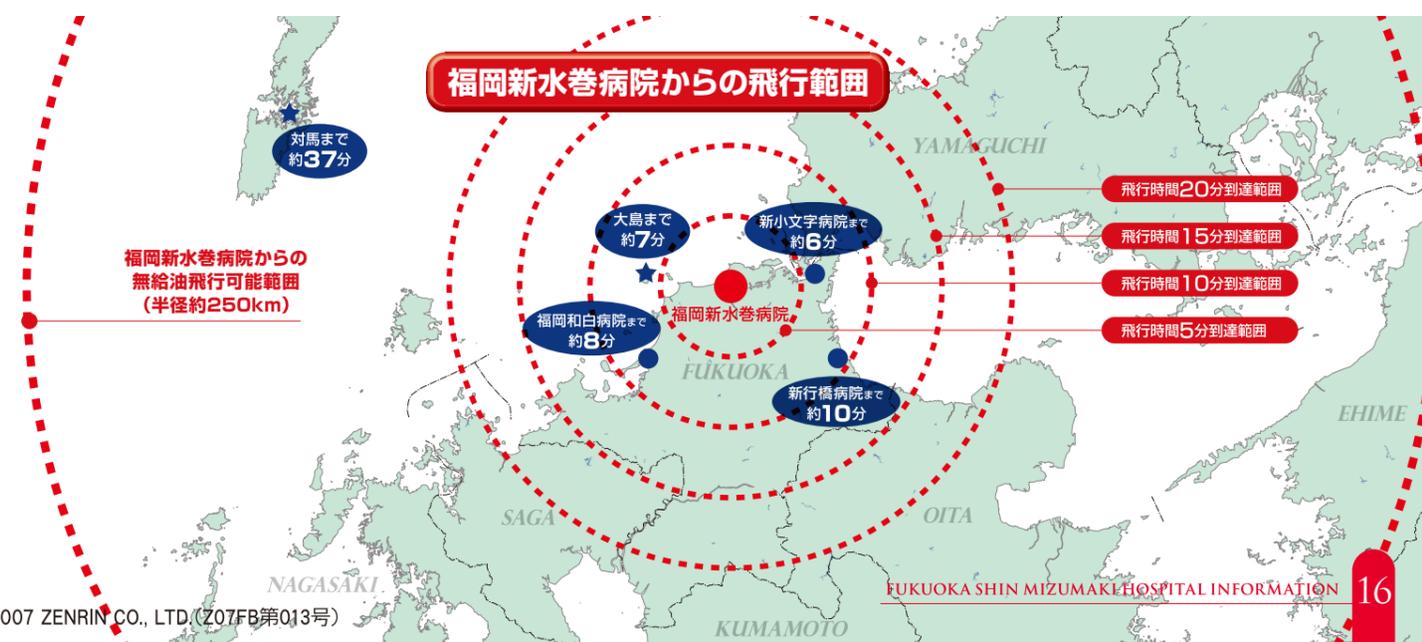
退院後など、安静が必要な患者様の離島や僻地への下り搬送にも利用可能。

離島や、車での移動が困難な僻地からの患者様は、帰宅に際して、多くの時間や費用が掛かります。退院後の患者様をご自宅までお送りする「下り搬送」にも利用可能です。

福岡県内の拠点病院間の患者様・医師搬送をスピーディーに。

福岡県内の池友会拠点4病院を結び、患者様や医師を搬送する事が可能です。これにより緊急手術や、高度な医療処置が必要な場合の転院、各専門医の移動などをスピーディーに行えます。

★ホワイトバードの運航に伴う患者様の搬送費用の負担は一切ありません。



看護部

NURSING DEPARTMENT

教育担当メンバー



看護部理念 患者さまによりよい看護ケアを提供する

- 基本方針**
1. 患者さまの立場に立った、心のこもった看護を行う
 2. 専門職業人としての看護を目指す

看護の力は治療にも、患者さまの生活にも大きく影響するものです。知識と技術を積み上げ患者さまによりベストな状態で医療を受けてもらうための重要な役割を担っています。私たちは病院の理念を大切に、一人一人が専門職業人として看護部理念である「患者さまによりよい看護ケアを提供する」を実践できるように努めています。そのために「自ら学ぶ」をサポートし、共に看護の力を磨き患者さま、ご家族に選ばれる看護を提供していくことを目指しています。



看護部長
牛島 美智子

看護体制

- 一般病床(203床) 7:1
- ハイケアユニット【HCU】(12床) 4:1
- 集中治療室【ICU】(12床) 2:1

当院の 認定看護師



集中ケア
看護師長
松本 隆



皮膚・排泄ケア
看護師長
末廣 ハル



がん化学療法看護
看護師
藤野 恵美

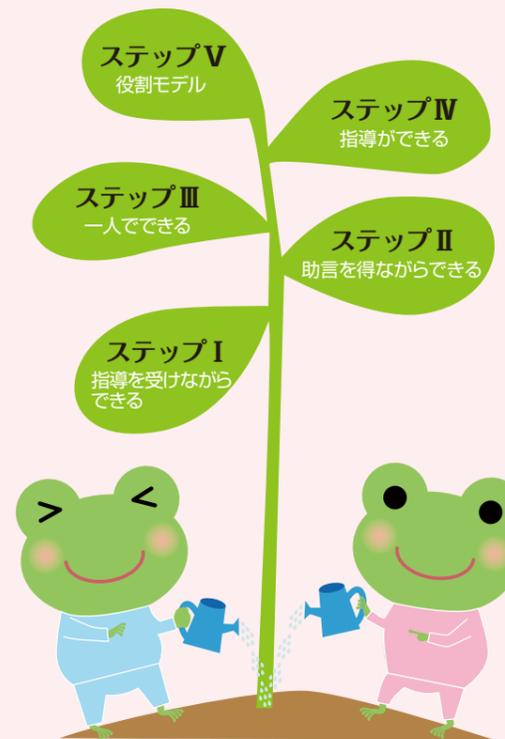
教育体制 充実した卒後教育・明確な目標設定で 確実にスキルアップ



教育専任看護師長
副看護部長
木通 幸代

キャリアラダー制度

段階的にスキルアップを図り、自立した看護専門職業人を目指すシステム。



各ステップにおける期待する姿

| ステップ | 役割モデル | 期待する姿 |
|-------|------------------|---|
| ステップⅤ | 役割モデル | ①自分の役割を理解し、役割モデルとしての行動がとれる。 ②エキスパートとして卓越した看護実践ができる。 |
| ステップⅣ | 後輩(新人・学生)指導ができる | ①科学的根拠や専門知識をもとにスタッフへ指導、助言ができる。 ②部署の目標を意識してリーダーシップを図り、チームとして目標達成に向けた行動ができる。 |
| ステップⅢ | 一人でできる | ①様々な知識を活用しながら、対象者の個性性と優先度を考慮して、計画的に看護実践を行う事ができる。 ②メンバーシップを理解してチーム員として目標達成に向けた行動ができる。 ③チーム医療における自己の役割を認識し行動できる。目標をもって自己学習を行い、看護研究に参加できる。 |
| ステップⅡ | 必要に応じて助言を得ながらできる | ①看護実践を、自ら考え適切な支援を受けながら行動できる。 ②時に助言を必要とするが、職場における役割と責任を認識し行動できる。 ③標準看護計画については一人でできる。 |
| ステップⅠ | 指導を受けながらできる | ①社会人・職業人としての責任を持つ事ができる。 ②チーム医療の中で指導者と一緒に看護実践を行う事ができる。 ③人間関係を良好に保ち、職場のルールに沿って行動できる。 |
| ステップ0 | | ①ラダー未獲得者 |

社会人基礎力

社会人基礎力



海外研修

| 対象 | 時期 | 期間 | 場所 |
|------------------|-------|------|---------|
| 卒後2年目 | 2月 | 3泊5日 | カンボジア |
| 卒後4年目 | 5~6月 | 5泊7日 | アメリカ |
| 卒後6年目以上 管理職も可 | 9~10月 | 4泊6日 | オーストラリア |

※病院補助:院内の規定による補助金が支給されます。



地域医療の基幹病院としての取り組み

学術講演会

近隣の先生方・医療スタッフを対象に年2回定期的に開催。

毎年2回、定期的に担当科別に症例報告を兼ね近接で開催されておられる先生方や各医療機関の職員の方々に参加いただき、学術講演会を開催し、毎回外部からも著名な先生方に特別講演をお願いしております。



症例検討会・全国及び地方学会

活発な意見交換や情報交換を行い、常に医療の未来を見つめています。

地域の消防本部と搬送症例を持ち寄り、近隣の病院の医師や看護師など医療従事者を交えて、合同で症例検討会を定期的で開催しています。

また、毎年日本救急医学会・日本外科学会・日本整形外科学会・日本泌尿器科学会・日本内視鏡外科学会・日本形成外科学会等、多くの学会にて演題発表を行い、第一線で活躍されておられる先生方とも情報交換を行っています。



専従・認定看護師の配置

患者様に安全・安心な医療の提供ができるように医療安全管理者、感染管理認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師の専従配置に加え、教育責任者その他の分野における認定看護師を配置しております。全職員への研修会の開催や日々の実践を通しての教育・指導、委員会での情報共有や検討会を行いながら、それぞれの専門的な知識・技術を最大限に活用できるようにしてさらなる医療の質の向上に努めています。



治験管理室

新しい薬が誕生するまでには、その薬の人体に対する有効性や安全性を調べる臨床試験(治験)が行われます。

当院では、患者様にご協力いただきながら治験管理室が窓口となり、医療の発展に貢献できるように治験に取り組んでいます。

皆様のご協力をいただければ幸いです。

治験についてご興味のある方は、お気軽にお尋ねください。



診療情報管理室

「医療の効率化・質の向上」の視点から、診療情報管理士によるICDコーディング(国際疾病分類)を行い、年齢・入院期間・転帰などの情報を疾病別に検索および統計化し、EBM(Evidence-based Medicine)の推進に貢献しています。

また「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、全国がん登録を行っています。日本で「がん」と診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。当院では、年間約300件以上のデータを国へ提出しています。

その他に院内・院外より依頼がある調査・統計・分析を行ったり、診療情報提供等に関する業務を行ったりしています。



平成28年度より、全国統一の定義と形式に基づいた指標を作成する「病院情報(病院指標)の公開」を始めました。当院ホームページ内に掲載しておりますので、是非ご覧ください。

地域医療連携センター

顔のみえる医療連携のために。



●地域医療連携センター長
(内科医師)
八代 晃
産業医科大学(昭和59年卒)

地域医療機関との協力体制の充実、連携の強化を更に進め、退院や転院、治療継続のために、患者様やご家族が抱える問題に対する相談・支援の充実に努めております。地域医療機関からの紹介患者様が、安心して診療が受けられるよう紹介の架け橋となり、また病院での診断と治療を終えた後は、「かかりつけ医」や近隣医療機関へ情報の伝達を行い、スムーズに受診できるように連携を行っています。



入退院支援センター

患者様やご家族より、入院前もしくは入院直後から情報を伺うことで、様々な問題を早期に把握し、安心して入院生活が送れるように支援しております。また、退院後を見据えて、退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーが連携し、患者様・ご家族が安心してご自宅や転院先での療養生活が送れるように支援しております。



医療相談

皆様に安心して療養生活を送っていただくために、相談窓口を設けております。相談窓口には、専任の医療コーディネーター又は医療ソーシャルワーカーが常駐しておりますので、お困りのことがある時・誰に尋ねればいいのか分からない時・当院の対応で不快な思いをされた時など、お気軽にご相談ください。個人情報に配慮し、適切に対応させていただきます。



健康教室

近隣地域の皆様へ向け、健康教室等を開催しています。

出前の健康教室を行っています。早期発見・早期治療を目的に、また予防医学の観点から食事面や体操、更に脳卒中に関しては脳血管内治療法など、医師や医療技術者よりわかり易くご説明致しております。また、状況に応じてインターネットを利用して、リモートでの開催も適時実施しております。地域の皆様からのご要望にお応えし実施しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



地域医療研修会

地域医療の一環として、医療従事者を対象とした研修会を開催しております。研修会を通して、専門分野の知識や技術を共有できればと考えております。お気軽にお問い合わせ下さい。集合が難しい場合は、リモートでの開催も状況に応じて実施しております。



院内の主な施設

THE MAIN FACILITIES IN HOSPITAL

明るく快適な、癒しとくつろぎの空間。



1Fフロアー

自然光をいっぱいに取り入れたアトリウム空間やスタッフゾーン。高機能な建築設備を備えつつも、わかりやすく、色彩や素材感に配慮したアメニティ空間を提供します。



特別室(全室ミニキッチン・浴室あり)

病棟 食堂

各病棟はそれぞれのイメージカラーを持ち、デイルーム・患者様専用食堂を配置し、適時適温はもとより各階食堂にはミニキッチンを備え、ご飯と汁物はよそった物をすぐにお召し上がりいただけるようにしています。食堂を利用されている患者様からも、落ち着いた食事ができると好評を得ております。



食堂



9F 展望浴場

広々としたお風呂で、スッキリと汗を流していただきたいという思いから、大浴場を設置し、365日開放しています。開放感いっぱいの浴室で、心身ともにリフレッシュ。患者様にとっても好評なのびのび空間です。



談話室



1F コンビニ

- 平日 / 8:30~17:00
- 日・祝日 / 10:00~16:00



1F ラウンジ

- 平日 / 11:00~15:30 (オーダーストップ 15:00)
- 日・祝日 / 定休日

1階は、日用雑貨類や衛生用品・食料品を備えたコンビニがあります。また、外来受診後の患者様やご家族の方々にご利用いただけるようラウンジがあります。バスの待ち時間などお気軽にお立ち寄りください。各種定食からドリンク類まで豊富なメニューを準備してお待ちしています。

教育研修・海外交流・地域交流

EDUCATIONAL TRAINING AND OVERSEAS EXCHANGE AND REGION EXCHANGE

- アメリカ研修
- カンボジア小児病院研修及びボランティア
- オーストラリア研修
- 釜山 好康安病院研修
- ドイツ研修

新人職員の卒後教育、幹部養成教育への取り組みとして、各チーム毎のミニ研修から学識経験者等を招いての講演会、さらに海外研修まで幅広く研修活動を行っています。また、米国バリーホスピタルでの研修制度をはじめ、国内外の研究発表にも積極的に参加。医局、看護部を問わず、毎年数十件の論文、研究発表を行っております。



アスクレピオスクリニック(ドイツ)



バリーホスピタル(ニュージャージー州)

健康まつり

毎年10月頃に地域の皆様との交流イベントである「健康まつり」を開催しております。ステージ上では、地域の子供達による催しものを行い、各ブースでは食事の提供や血圧測定などの健康に関する相談を行っており、約1,500人の皆様にご来場頂いております。



アンコール小児病院

アンコールフレンズ基金 FRIENDS WITHOUT A BORDER

アンコール小児病院は、アンコール・ワットで有名なカンボジアのシェムリアップ市に、1999年1月に開院しました。ニューヨークに本部を置くフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー(国境のない友達)の最初のプロジェクトとして建設された病院です。「ニューヨークの写真家 井津建郎氏が、アンコール・ワットの遺跡の写真を撮っていた時、周りに大勢の子どもたちが集まってきました。子どもたちの中に地雷で手足を失ったり、顔が傷ついた子どもたちを見て、傷ついた子どもや、マラリア、デング熱にかかっても、貧しさのため治療が受けられない子どもたちのために、小児病院をつくらうと決心したのがきっかけです。」私たちは、理事であり医療顧問である当病院の理事長をはじめ、職員全員で支援しています。1年間、一口3,000円のアンコールフレンズ基金を設立しましたので、ご協力をお願いします。

■認定NPO法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー-JAPAN
TEL/FAX 03-6421-7903

福利厚生

PUBLIC WELFARE

快適な職員寮

福岡新水巻病院職員寮 リバーサイドハイツ水巻



●外観



●陽当たりのいい室内



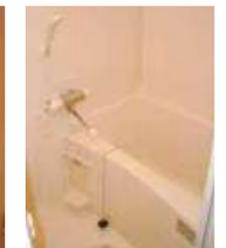
●11畳ワンルーム



●カウンターキッチン



●シャブードレッサー



●快適ユニットバス



●ウォシュレット完備

●住所/遠賀郡水巻町立屋敷1-4-22リバーサイドハイツ水巻 ●間取り/ワンルーム ●階数/6階建・エレベータ付 ●主要設備/ユニットバス・トイレ・クローゼット・カウンターキッチン・各室ガスコンロ有・各室エアコン付 ●室料/当院規定に準ずる

充実の 厚生施設で 明日の英気を

当院では毎年国内、国外旅行を実施しているほか、保養所等の厚生施設の充実に努めています。リフレッシュすることで、新たな意欲を生み出しながら、日々向上心を持って働くことができるよう考えております。



●湯布院ロッジ



●玄海サンセット(プール・サウナ有)



●九重ロッジ



●湯布院ロッジ(露天風呂)

施設基準等

FACILITIES STANDARD, ETC.

施設基準 2022.7.1現在

基本診療料○急性期一般入院料1○特定集中治療室管理料3○基幹型臨床研修病院入院診療加算○救急医療管理加算○超急性期脳卒中加算○診療録管理体制加算1○医師事務作業補助体制加算1○急性期看護補助体制加算○看護職員夜間配置加算○精神疾患診療体制加算○療養環境加算○無菌治療室管理加算2○医療安全対策加算1○医療安全対策地域連携加算1○感染対策向上加算1○指導強化加算○地域医療体制確保加算○入院時支援加算○入退院支援加算1○患者サポート体制充実加算○呼吸ケアチーム加算○病棟薬剤業務実施加算1○病棟薬剤業務実施加算2○後発医薬品使用体制加算1○データ提出加算2○ハイケアユニット入院医療管理料1○褥瘡ハイリスク患者ケア加算○せん妄ハイリスクケア加算○認知症ケア加算3○報告書管理体制加算○重症患者初期支援充実加算

特掲診療料○医療機器安全管理料1○開放型病院共同指導料○救急搬送看護体制加算○夜間休日救急搬送医学管理料○乳腺炎重症化予防ケア・指導料○院内トリアージ実施料○入院時食事療養(1)○がん性疼痛緩和指導管理料○がん患者指導料○がん患者指導料イ○がん治療連携指導料○薬剤管理指導料○検体検査管理加算(IV)○ヘッドアップティルト試験○神経学的検査○内服・点滴誘発試験○センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る)○硬膜外自家血注入療法○酸素加算○画像診断管理加算1○CT撮影及びMRI撮影○人工腎臓○導入期加算1○透析液水質確保加算○大腸CT撮影加算○心臓MRI撮影加算○冠動脈CT撮影加算○抗悪性腫瘍剤処方管理加算○外来化学療法加算1○外来腫瘍化学療法診療料1○無菌製剤処理料○心大血管疾患リハビリテーション料(I)○脳血管疾患等リハビリテーション料(I)○運動器リハビリテーション料(I)○呼吸器リハビリテーション料(I)○がん患者リハビリテーション料○輸血管理料II○輸血適正使用加算○麻酔管理料(I)○病理診断管理加算1○悪性腫瘍病理組織標本加算○保険医療機関間の連携による病理診断○テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製○テレパソロジーによる術中迅速細胞診○二次性骨折予防管理料1○二次性骨折予防管理料3○緊急修復固定加算及び緊急挿入加算○脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)又は脳刺激装置交換術○脊髄刺激装置植込術又は脊髄刺激装置交換術○経皮的冠動脈形成術○経皮的冠動脈ステント留置術○ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術(電池交換を含む。)○大動脈バルーンポンピング法(IABP法)○経皮的大動脈遮断術○人工肛門・人工膀胱造設術○ダメージコントロール手術○胃瘻造設術○内視鏡的小腸ポリープ切除術○腹腔鏡下膵体部腫瘍切除術○医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)

□学会認定施設

- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本形成外科学会教育関連施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本内科学会教育関連病院
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本脳神経外科学会専門医制度基幹(連携)施設
- 日本消化器外科学会専門医制度関連施設
- 日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター(PSC)
- 日本脳神経血管内治療学会専門医制度研修施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関

□救急告示病院／日本医療機能評価機構認定病院／DPC対象病院 厚生労働省指定管理型臨床研修病院

□その他

- 北九州地域救急業務メディカルコントロール協議会委員
- 救急救命士への医師の具体的指示に係る指定施設(遠賀郡消防本部・中間市消防本部)
- 救急救命士及び救急隊員の実習病院(遠賀郡消防本部・中間市消防本部)
- 救急救命士による薬剤投与実習病院(遠賀郡消防本部・中間市消防本部)
- 救急救命士養成施設(公務員ビジネス専門学校 救急救命九州研修所)
- 福岡臓器移植情報責任者設置医療機関
- 看護学校実習施設(福岡水巻看護助産学校・福岡看護専門学校)
- 理学療法士・作業療法士養成実習施設(小倉リハビリテーション学院・八千代リハビリテーション学院・福岡和白リハビリテーション学院・下関看護リハビリテーション学校)
- 日本病院会短期人間ドック指定病院
- マンモグラフィ検診施設

関連施設

FACILITIES CONCERNED

関連病院

| | | |
|--|--|--|
|  <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院 福岡市東区和白丘2-2-75 TEL.092-608-0001 www.f-wajirohp.jp</p> |  <p>社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 北九州市門司区大里新町2-5 TEL.093-391-1001 www.shinkomonji-hp.jp</p> |  <p>社会医療法人財団 池友会 新行橋病院 福岡県行橋市道場寺1411 TEL.0930-24-8899 www.shinyukuhashihospital.or.jp</p> |
|  <p>社会医療法人財団 池友会 香椎丘リハビリテーション病院 福岡市東区下原2-24-36 TEL.092-662-3200 www.kashii-rh.net</p> |  <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニック 福岡市東区和白丘2-11-17 TEL.092-608-0138 www.fw-kenshin.net</p> |  <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白PET画像診断クリニック 福岡市東区和白丘2-2-76 TEL.092-608-1166 www.fwpet.net</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 新武雄病院 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地 TEL.0954-23-3111 www.shintakei-hp.or.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 下関リハビリテーション病院 山口県下関市今浦町9-6 TEL.083-232-5811 www.shimoreha.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 八千代リハビリテーション病院 千葉県八千代市米本1808 TEL.047-488-1555 www.yachiyo-reha.com</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 所沢明生病院 埼玉県所沢市山口5095番地 TEL.04-2928-9110 www.meisei-hp.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 明生リハビリテーション病院 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4-2681-2 TEL.04-2929-2220 www.meisei-rehajp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 新上三川病院 栃木県河内郡上三川町上三川12360番地 TEL.0285-56-7111 www.kaminokawa-hp.jp</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院 東京都大田区大森西4-14-5 TEL.03-5767-7100 www.kamata-rh.net</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 宇都宮リハビリテーション病院 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2 TEL.028-662-6789 www.utsunomiyarh-hp.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 東京都小金井市前原町1-3-2 TEL.042-316-3561 www.koganei-rh.net</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 赤羽リハビリテーション病院 東京都北区赤羽西6-37-12 TEL.03-5993-5777 www.akabane-rh.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 松戸リハビリテーション病院 千葉県松戸市和名ヶ谷1009-1 TEL.047-703-1555 www.matsudo-reha.com</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 千葉みなとリハビリテーション病院 千葉県千葉市中央区中央港1-17-18 TEL.043-245-1555 www.minato-reha.com</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 東京都渋谷区神宮前6-26-1 TEL.03-3486-8333 www.harajuku-reha.com</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 五反田リハビリテーション病院 東京都品川区西五反田8-8-20 TEL.03-3779-8820 www.gotanda-reha.com</p> |  <p>社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院 埼玉県久喜市上早見418-1 TEL.0480-26-0033 shinkuki-hp.jp</p> |
|  <p>医療法人社団 神奈川巨樹の会 みどり野リハビリテーション病院 神奈川県大和市中央林間2-6-17 TEL.046-271-1221 www.midorino-hp.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 江東リハビリテーション病院 東京都江東区北砂2丁目15-15 TEL.03-6880-1555 www.koto-reha.com</p> |  <p>社会医療法人社団 東京巨樹の会 東京品川病院 東京都品川区東大井6-3-22 TEL.03-3764-0511 tokyo-shinagawa.jp</p> |
|  <p>一般社団法人 巨樹の会 狭山中央病院 埼玉県狭山市富士見2-19-35 TEL.04-2959-7111 www.sch.or.jp</p> |  <p>一般社団法人 巨樹の会 第2宇都宮リハビリテーション病院 栃木県宇都宮市一番町2-11 TEL.028-666-4880 2.utsunomiyarh-hp.jp</p> |  <p>社会医療法人財団 池友会 福岡和白リハビリテーション学院 福岡市東区和白丘2-1-13 TEL.092-608-8600 www.fukuokawajiro-reha.jp</p> |

関連教育施設 学校法人 巨樹の会

| | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|
|  <p>小倉リハビリテーション学院 北九州市小倉南区葛原東2-2-10 TEL.093-473-8005 www.kokura-reha.jp</p> |  <p>下関看護リハビリテーション学校 山口県下関市竹崎町3-4-17 TEL.083-222-0606 www.shimonoseki-rehajp</p> |  <p>八千代リハビリテーション学院 千葉県八千代市八千代台北11-1-30 TEL.047-481-7320 www.yachiyo-reha.jp</p> |  <p>福岡看護専門学校 福岡市東区和白丘2-1-12 TEL.092-607-0053 www.fukuoka-kango.jp</p> |  <p>福岡水巻看護助産学校 遠賀郡水巻町立屋敷1-14-51 TEL.093-201-5233 www.kango-mizumaki.jp</p> |  <p>武雄看護リハビリテーション学校 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12623番地 TEL.0954-23-6700 www.takeo-nurse-reha.jp</p> |
|--|--|--|--|---|--|